

健康講座の高齢者被害に注意！

2019年4月15日号

「母に健康講座のダイレクトメールが届き、話を聞きに行くようになった。初めは食料品を買っていたが、通う度に高額な健康食品を買うようになり、商品が放置されたままになっている。どうすればいいか」といった相談があります。

以前は、空き店舗などの閉め切った会場で、高揚する雰囲気や催眠状態になった高齢者に高額商品を購入させる手法でした。しかし近頃では、地域の会場で、健康講座や楽しいトークで夢中にさせて長期的に通わせ、そして次々と健康食品を購入させるケースが多く、支払い困難になって気付くことが多いようです。

高齢者本人には被害者意識がないため、きつく非難するとかえって孤立してしまう例もあります。状況によっては返品できる可能性もありますので、気付いたら、決して責めずに話し合しましょう。

困ったことがあれば消費生活センターに相談しましょう。